

# 北海道・三陸沖後発地震注意情報とは

- ・ 千島海溝、日本海溝沿いにおける最大クラスの地震の想定震源域周辺においてモーメントマグニチュード(Mw)7以上の地震が発生し、大規模地震発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていると考えられる場合に、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されます。
- ・ 先発地震の後に、後発の大規模地震が発生する可能性について、世界の事例の事例を参照すると、次の通りです。

## 1週間以内に大規模地震が発生する可能性

### 平常時

(地震調査委員会における長期評価より※)

**約0.1%**

(千回に1回程度)

### 後発地震注意情報発表時

(地震発生 of 統計より)

\*世界で1,529事例中19事例

**約1%**

(百回に1回程度)

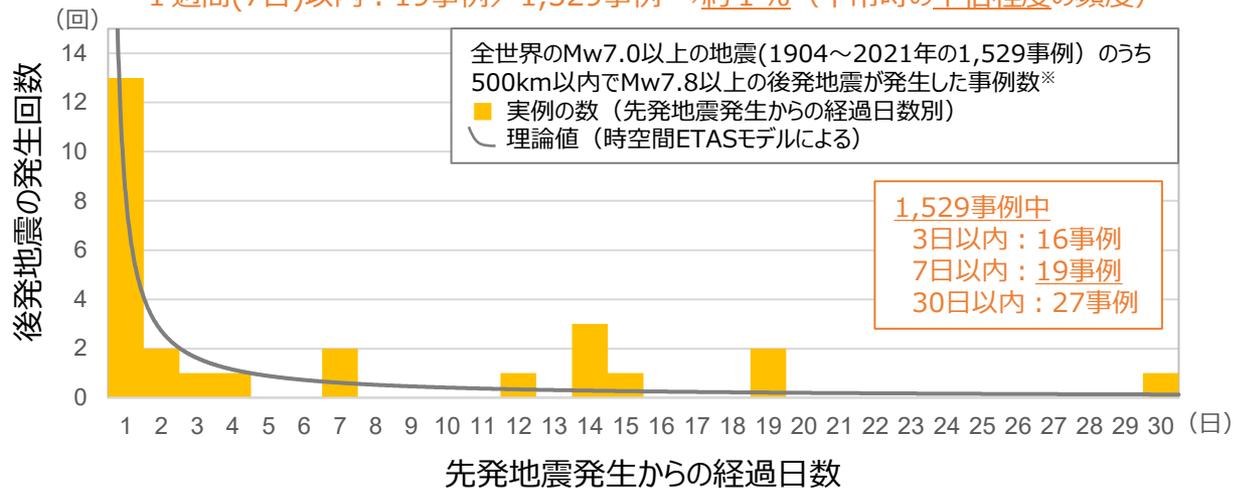
※ 千島海溝、日本海溝沿いにおけるM8クラスの地震と評価された中で最大の発生確率である根室沖の地震において、今後30年90%程度であることによる。なお、千島海溝沿いのM9クラスの地震については今後30年間7~40%と評価されている。

\*1904年~2021年のデータ (ISC-GEM ver.12.0) をもとに抽出。

# (参考) 世界の地震発生の統計に基づく大規模地震発生の可能性について

## (a) Mw7.0以上の地震に続いて、Mw7.8(M8クラス)以上の地震が発生した事例の発生パターン

1週間(7日)以内：19事例／1,529事例 ⇒約1% (平常時の十倍程度の頻度)



※ISC-GEM ver.12.0による。